



『マンガでわかる! 発達障害とグレーゾーンの人が見ている世界大全』

柏淳 (著), 工藤ぶち (マンガ) 文響社 1,848 円

- 第1章 発達障害の子供が生きている世界
- 第2章 発達障害の人が大人になってから生きる世界
- 第3章 発達障害「グレーゾーン」の人の生きづらさの理由
- 第4章 うつ・不登校・適応障害など発達障害による二次障害の防ぎ方
- 第5章 発達障害と共に生きている6人の生活術

発達障害当事者の見え方と周囲の人の見え方をマンガで比較し、それぞれの見え方の違いを紹介

→授業に集中「しない」困った子? 授業に集中「できない」困っている子?

「なぜ」が解消されれば、周囲の人も当事者も、互いに理解しやすくなる!

→「あの人は、なぜあんなことを言うの?」「あの人は、なぜミスをするの?」

うつ・不登校・適応障害など発達障害による二次障害の防ぎ方も

→当事者の感覚を理解できないと二次障害を招きやすい
発達障害の支援では、いかに二次障害を防ぐかが重要!

発達障害の誤解を解く! 学校・職場・家庭でともに生きるための新常識がわかる

私は長男の休みが重なることは、あまりありません。息子は月に8〜10日程休みがあります。私が、私は土日仕事が多いので、休みのことが多く、休みの少ないです。先日、たまたま休日が重なり、「どこか行く?」と声を掛けられました。運動して、温泉にでも連れていってくれるのかと思いきや、「金比羅さん?」と。なぜ、金比羅さん? 疲弊した体で、あの階段はちょっと...。丁寧に断りして、家でゆっくりさせてもらいました。結局、息子はジムで体を鍛えてきたようです。できることが増えてきたのは、やはり、自閉症であることを再認識。相手の状態を判断して行動するのは、やはり難しいですね。(亜)

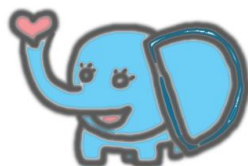
ダンボクラブでは、発達障がいについて広く理解していただくための啓発活動を行っています。ご賛同いただける方の温かいご支援を募集しています。

ボランティア活動にご興味のある方、ご寄付いただけます方は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ: damboclub@gmail.com

お振込口座: 伊予銀行 小栗支店 普通 1321818

ダンボクラブHP → <https://www.dunboclub.com/>



ダンボ通信

☆第189号☆
発行日: 2025年6月

****ダンボクラブについて****

発達障がいがどのようなものか知っていますか?
私たちは、そんな子どもたちを育てています。
この広報は、ダンボクラブがどんな活動をしているのか知っていただくために作りました。



☆☆☆活動報告☆☆☆

★保護者会 5/24(土)★

「こどもの相談室 ふらっと」の前年度報告と、座談会・役員会がありました。座談会では、近況報告と情報交換をしました。和気あいあいと、活発な意見交換ができました。

★成人当事者会「ワンピース」 5/18(日)★

SST~防災について~ テーマ ○今すぐできる! 防災 ○災害時の防災について
＜内容＞

○防災士の田中優子氏と田中輝和氏による講話

防災の基本原則である「自助」「共助」「公助」の中の、「自助」について。災害が起きたときのための備蓄品や非常持ち出し品など、実際に準備しているグッズの展示を手に取りながらの説明や、家族や仲間と連絡を取り合うための役立つ使い方など

過去に発生した災害の記録(現地に実際赴いたときの写真など)や、防災士について、被災したときの対応、対策など

○防災食の試食・交流会

3つのチームに分かれて、市販されている缶詰・お湯で作れる炊き込みご飯・おやつなど、少しずつ分けて試食後、講話や試食についての感想、自分の取り組んでいる防災について話し合いました。



★★★活動紹介★★★

保護者会において、「こどもの相談室 ふらっと」の前年度報告がありました。

『こどもの相談室 ふらっと』



設置時期
令和4年4月1日

松山市若草町8-3
ハーモニープラザ3階

TEL 089-997-7955
FAX 089-997-7977

Mail: furatto@matsuyama-swwo.jp

相談対象
・18歳以下の子ども
保護者や支援者

「ふらっと」には、気軽に立ち寄っていただきたいという思いや、子どもの発達
の特性等の有無によって分け隔てられることのない社会になって欲しいという
意味が込められています。



『こどもの相談窓口』……室長 1名(兼務) 相談支援専門員 2名 相談員 1名

子ども自身の悩みや子育てに不安がある保護者が相談できる場、関係機関と連携・相談できる
場。必要があれば継続支援の専門機関等につなぐ。

※障害者総合支援法第77条第1項第3号の相談支援事業 ※入口相談

『障害児相談支援事業』……管理者 1名(兼務) 相談支援専門員 3名

★松山市児童発達支援センターひまわり園相談支援事業所

- ・ 障害福祉サービス等に関することをはじめ、地域生活といった暮らしに関する事など、様々な
相談に応じ、本人とその家族が安心して生活できるようにサポートを行う。
- ・ 本人の意向を踏まえて、自立した日常生活や社会生活の実現のため支援、中立・公平な立場か
ら 障害福祉サービス利用のための支援などを行う。
- ・ 具体的には、生活全般にかかわる相談・情報提供やサービスなど利用計画の作成、モニタリン
グ、関係機関との連絡・調整などの業務を担う。

『こどもの相談窓口』 受付状況 令和6年度

・相談者数(新規)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
60	49	52	52	19	35	38	31	29	32	30	32	459

・対象年齢(新規)

0歳～3歳	4歳～6歳	小学生	中学生	16歳～	匿名・年齢不詳	計
131	126	154	27	11	10	459

『こどもの相談窓口』 受付状況 令和5年度

・相談者数(新規)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
47	50	41	49	48	48	52	57	45	52	34	35	558

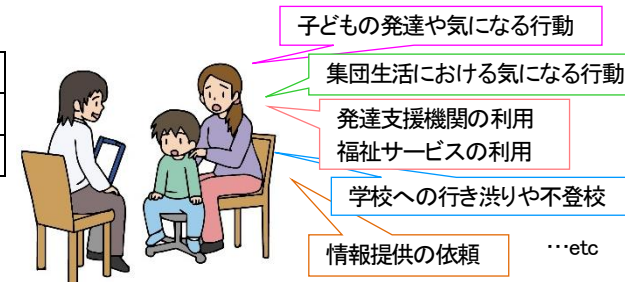
・対象年齢(新規)

0歳～3歳	4歳～6歳	小学生	中学生	16歳～	匿名・年齢不詳	計
149	191	155	42	14	7	558

小学生以下が、圧倒的に多い！

診断の有無

	有	無	計
令和5年度	90	468	558
令和6年度	106	353	459



18歳以上の方の相談窓口

障がい者地域相談支援センターでは、概ね18歳以上の障がいやその疑いがある方が住み慣
れた地域で安心して生活できるよう、専門職員が相談を受け、必要な援助、支援を行っています。

★北部地域相談支援センター 開所時間：平日9時～17時

松山市内宮町16-5 タマリスク内宮1階 電話 089-989-6555 FAX 089-989-6888

圏域地区 浅海、立岩、難波、正岡、北条、河野、栗井、中島、湯山、日浦、五明、伊台、三津浜、宮前、高浜、
泊、由良、和気、潮見、堀江、久枝、新玉、清水、味酒、道後、味生

★南部地域相談支援センター 開所時間：平日9時～17時

松山市和泉南四丁目1-35 電話 089-968-1009 FAX 089-968-1019

圏域地区 久米、小野、石井、浮穴、荏原、坂本、八坂、素鷲、東雲、番町、桑原、生石、余土、垣生、雄郡